

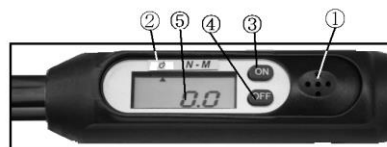


取扱説明書

音声付・倍力・デジタルトルクレンチ・600N・m専用
品番：#41262000 型式：GTP600

1, 各部名称、機能説明

- ① スピーカー：ギアレレンチMPZの締付トルクが600N・mになると『600N・mです。』と女性の音声でお知らせします。
- ② ：反時計回転方向のトルクを測定している時に「」の下に▲が表示されます。
- ③ ONボタン：電源を入れるのに使用します。
- ④ OFFボタン：電源を切るのに使用します。
- ⑤ ディスプレー：ギアレレンチMPZの締付トルクを表示します。



2, 使用方法

- ① ONボタンを押して、電源を入れてください。
- ② OFFボタンを押すと電源を切る事が出来ます。約2分間操作をしなかった場合、自動的に電源が切れます。
- ③ センター・スタンド（品番：#41259000）の取扱説明書を参考に、組み立ててください。
- ④ ギアレレンチMPZの主軸に41Nソケットを、確実に差し込んでください。アウターナットのトルク測定に使用する場合は、このまま使用してください。インナーナットに使用する場合は、41Nソケットの中に21Nソケットを差し込んでください。
- ⑤ トラックのアウターナット（インナーナット）にソケットを差し込み、抵抗止めを隣のナットに差し込んでください。
- ⑥ トラックの右側のアウターナット（インナーナット）は右ネジ、左側のアウターナット（インナーナット）は左ネジになっています。「3, 回転切換方法」を参考に、デジタルトルクレンチの爪の向きを切り換えてください。
- ⑦ センター・スタンドを使用して、デジタルトルクレンチのハンドルを両手で持ち、軸に対して垂直方向に回して締め付けてください。ギアレレンチMPZの締付トルクが600N・mになると、『600N・mです。』と音声でお知らせします。
- ⑧ 本商品は、**ナットを緩める作業には使用出来ません。**

3, 回転切換方法

- ・ナットの締め付け測定をする方向に応じて、デジタルトルクレンチのレバーの向きを下記に従い変更してください。

レバーの位置	回転方向
I	時計回転方向（右ネジ）
II	反時計回転方向（左ネジ）



4, 安全ピンの交換方法

- ・ギアレレンチMPZの安全ピンが破損、変形した場合は、下記の手順で**指定の安全ピンと交換**してください。
- ① デジタルトルクレンチとギアレレンチMPZを接続している六角穴付ボルトを反時計回転方向に回して緩めて、デジタルトルクレンチを、ギアレレンチMPZから取り外してください。
 - ② ピンポンチ等を使用して、横から安全ピンを叩き出してください。抜け難い場合は、止めネジを少し緩めて、安全ピンを抜き取ってください。止めネジを緩め過ぎると、内部の圧縮コイルバネ、スチールボールが抜け落ちます。緩め過ぎない様に注意してください。**もし、抜け落ちた場合は、元の通り確実に組み付けて**ください。
 - ③ 新しい安全ピンを確実に差し込んで、止めネジを締め付けてください。
 - ④ ①と逆の手順でギアレレンチMPZとデジタルトルクレンチを接続してください。

5, 電池交換方法

- ① デジタルトルクレンチの電源が入らない場合、ディスプレイの左上に「BAT」表示が出た場合は、電池を交換してください。
- ② ハンドル裏面のカバーをスライドさせて取り外し、単3型乾電池を2本とも新しい物と交換してください。極性は陰極（-）を電池ボックスの奥方向に向けて挿入してください。

6, 注意事項

△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

- ① **延長パイプは使用しないでください。**過度の入力トルクがかかり、ギアレレンチMPZ破損の原因になります。又、延長パイプを使用し、本機が破損しても、クレーン対象にはなりません。又、正確にトルクを測定する事が出来ません。
- ② 内部歯車保護の為、ギアレレンチMPZには、**安全ピン**が付いています。入力トルクオーバーで安全ピンが曲がるか、折れた時は新しい物と交換してください。**絶対に他の物を安全ピンの代替として使用しないでください。**本機破損の原因になります。
- ③ 入力時、ハンドルに力を入れている時は急に手を離さないで、**ゆっくりと手の力を抜き、ハンドルを離してください。**一度に手の力を抜いてハンドルを放すと、**反動で入力の反対方向に跳ね返り、顔や身体にケガを負う恐れがあります。**
- ④ **過度の入力トルクがかかると安全ピンが折れて、作業者が転倒し、ケガをする恐れがあります。必ず安定した姿勢で、軸に対して垂直に回してください。**無理な姿勢では、作業しないでください。
- ⑤ ハンドルはデジタルトルクレンチを使用してください。市販の他のハンドルは使用しないでください。事故、故障の原因になります。

△注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ① **本機はギアレレンチMPZを使用して、トルクを測定する機器です。**それ以外の用途には、使用しないでください。
- ② 本機の設定締付トルクは、**600N・m (61.2kgf・m)**です。それ以上のトルクを掛けて使用しないでください。
- ③ 高温多湿の場所、直射日光の当たる場所、雨や磁気等の影響を受ける場所では使用、及び保管をしないでください。
- ④ 本機は精密機器です。ハンマーで叩いたり、衝撃を与えないでください。
- ⑤ **オーバートルクで使用しないでください。**ギア、爪、安全ピンの破損に繋がり、トルク値の誤差が発生する原因になります。
- ⑥ **本機は防水仕様ではありません。**
- ⑦ 本機の使用温度は5～42℃、保管温度は-20～50℃です。
- ⑧ 本機の改造、分解はしないでください。
- ⑨ 本機に破損箇所がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- ⑩ デジタルトルクレンチは、ギアレレンチMPZ専用です。**デジタルトルクレンチは単独で使用出来ません。**又、ラチェットレンチとして使用したり、他のギアレレンチには使用出来ません。
- ⑪ デジタルトルクレンチの**ディスプレイ表示、並びに音声はギアレレンチMPZの出力**です。
- ⑫ デジタルトルクレンチのグリップの中心を片手で持って作業してください。決して、**ハンドルを足で操作したり、叩かない**でください。過度の入力トルクがかかり、本機破損の原因になります。又、ホイールより本機の抜け落ちや、安全ピンの破損により、ケガをする恐れがあります。
- ⑬ **操作方法を熟知していない人には、使用させないでください。**